



くろーばー

特集 special feature

農協改革 JAグループの自己改革



育てよう
明日を
JAグループ鹿児島



ふり散歩道

かぐや姫の里竹林公園 (さつま町虎居)

島津家の墓所がある宗功寺公園に隣接する、宮之城特産の竹を題材にした公園。純和風の茶室や広大なグラウンドなどが整備され、入り口には竹をイメージした円筒形のモニュメントが設置してあります。

謹賀新年

農業所得の向上と

豊かな地域社会実現へ

代表理事組合長 永福喜作



明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。日頃よりJA北さつまに対し、深いご理解と力強いご支援、ご協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年は異常気象による災害が多く発生しました。国内では度重なる大型台風の襲来で各地に被害をもたらし、農業生産においてもさまざまな悪影響が出ました。また、全国的に地震、火山活動が活発化しており、あらためて自然災害の怖さを実感させられた年でありました。

農業を取り巻く情勢は依然として厳しく、昨年4月の消費税引き上げや円安に伴う燃料、生産資材、飼料等の高騰が農業経営を圧迫しております。また、安倍政権による経済政策「アベノミクス」の成果は地方に波及しておらず、景気回復を実感するまでには至っていないのが現状で、迅速な対応が求められております。

農政問題では、T P P（環太平洋連携協定）交渉が大きなヤマ場を迎えております。JAグループではこれまで、農林水産物の「重要5品目の関税撤廃を除外する」とした国会決議の実現を強く訴えてまいりました。今後におきましても、食やくらし・いのちを守り、日本の農業や地域経済を守るため、引き続き全力で取り組んでまいります。また、政府は昨年6月にJAグループの事業と組織の見直し方向を示す「規制改革



◆常務理事

上 梅 勇 美
小 倉 正 人

◆理事

内 田 光 秋
森 谷 晴 己
綾 園 研 一
今 村 真 由 美
山 下 和 弘
鍋 洋 子
内 山 義 貞
古 園 満 矩
上 村 豊 一
圓 林 俊 美
岩 元 良 徳
永 野 光 伸



実施計画」を決定しました。法改正が必要な事項については、今年の通常国会に改正案が提出される予定です。政府の考え方に基づく改革では、地域のライフラインとしての機能が低下し、地域住民や社会に大きな影響を与え、地域農業の実態に即した施策が展開できない危険性があります。JAグループでは自己改革プランを策定し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に着実な実践に取り組み、農家所得の向上と安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指してまいります。

このような情勢の中、平成25年子牛市場取引ランキングで全国1位になった薩摩中央家畜市場では、昨年も全国トップクラスの高値取引が行われました。鹿児島県肉用牛枝肉共進会では、管内からの出品牛がグランドチャンピオンに選ばれ、地区別でも北さつまが4年連続で1位に輝きました。生産者をはじめ関係者の方々の努力に感謝し、今後も優良素牛の保留・導入に努められるなど、更なる銘柄確立にご協力をお願い申し上げます。

また、当地域の県北産「あきほなみ」が県産米として初めて、米の食味ランキングで「特A」に選ばれたのに続き、山形県庄内町で開催された「日本一おいしい米コンテスト」で、さつま町の生産者が作った「あきほなみ」が優良金賞を受賞しました。全国の米どころを抑えての入賞は誠に光栄なことであります。

当JAでは「第2次中期3ヶ年計画」を策定し、組合員の農業所得向上と経営安定を図りながら、多様な担い手と一体となった地域農業の活性化、安心・安全な農畜産物の供給等に取り組んでおります。また、「JADDOカード」のサービスを通じて、JAのファンづくりを進めながら、組合員加入やJA事業率向上に努めております。

昨年の総代会において、平成28年3月1日をめぐりに支所の再編・統廃合をすすめる計画を示させていただきました。「活力ある支所」へと再編をすすめる、JAの経営資源を集約し支所の体制を強化してまいります。また、専門性の高い職員配置や渉外担当者の増員を図り、出向く体制を強化して組合員・顧客サービスの向上に努め、より強固な経営基盤・財務基盤の確立を図ってまいりますので、ご理解をお願いいたします。今後とも組合員・利用者の皆様から信頼されるJAの構築を目指し、役員一丸となって邁進してまいります。これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も組合員の皆様、地域の皆様にとりまして、健やかで素晴らしい1年でありますようご祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

◆監事
村岸桂樹
岸良明夫
柿川行生
向江秀仁
武元栄

◆常勤監事
徳留純一

◆代表監事
田原典雄

井下厚美
東和子
白坂純一
近藤裕一郎
山下三郎
山田信男
春田和則
池山準一
岸之迫信光
北之迫善文
田崎善文

支所再編に伴う組合員説明会 意見・要望にお答えします

支所再編に伴う組合員説明会を平成26年9月9日から10月2日まで、各地区で開催いたしました。この中で出された主な意見・要望についてご報告いたします。



Q 合併の際の合意事項は履行されているのか。解決してから支所再編を進めるべきではないか。

A 川内総合支所の売却問題が残っています。同支所は川内原発の避難所になっており、また土地・建物の時価が簿価を大きく下回っています。減価償却をしながら売却時期を待った方がいだろうかとの判断です。

Q 樋脇・市比野の新設支所の土地の取得候補地はどうなっているのか。

A ライスセンター付近は過去に水害にあった経緯がありますので選定から外し、塔之原と市比野の間で検討中です。樋脇地区の説明

会で、建設予定地については将来を考えて市比野地区でいいと賛同されました。土地が選定でき次第、組合員説明会を開催いたします。なお、建設に係る応益出資は考えておりません。

Q 支所統廃合による余剰人員の再配置はどうなるのか。

A 総合渉外担当者を配置した後、業務量に応じた適正な人的体制を整え、機能的な業務を行ってまいります。

Q スタンドだけは残してほしい。

A 地域に受託を希望する方がいる場合、全面的に委託します。しかしながら、地下タンクの老朽化や従業員の体制（有資格者が2名必要）など、経営に関する問題があります。

Q 購買店舗はどうなるのか。

A 地域に受託希望者がいる場合は運営を委託したいと考えています。希望者がいない場合は店舗を廃止し、生活資材については移動購買店舗車を巡回させます。

Q ATMの設置は考えられないか。

A 採算性を見ながら関係部署と協議し、設置（新規・継続）を検討します。指定されたコンビニのATMでは手数料が無料になりますのでご利用ください。

Q 廃止された支所の施設はどうなるのか。売却されるのか。

A 地域の方々と協議し、有効な活用方法がなければ賃貸や処分を検討します。

Q 総代会で既に決定したとあるが、このような支所再編の説明会は早く設けられて、段階的に総代会に提案されるべきではないか。

A 計画決定の経緯については、運営委員代表や組織代表等による組織整備委員会にて再編の考え方や統廃合の基準を決定していただき、それに基づいて理事会で廃止予定店舗が提案されました。総代会の地区別説明会等でご意見をいただき、最終的に総代会において決定いたしました。

Q 支所廃止により組合員脱退者が増加するのではないか。

A 離農、死亡脱退が増加する状況の中で、経営の合理化、支所の集約、再編整備が必要です。組合員の利便性を最大限確保しながら集約してまいります。

Q 地域の拠り所として支所を残してほしい。

A 支所があることが理想ですが、激変する環境の中で経営基盤を強化し、組合員の方々の大切な財産を守っていかねばなりません。お互いに痛みを伴いますが、経営改善を図り、棄損するリスクに対

して事前に対応することが組合員サービスだと考えます。

Q 金融ばかり優先しているので、経済事業に力を入れてもらいたい。

A 地域営農ビジョンの策定に伴い、毎年重点品目を絞り、高齢化対策として就農労力支援を行うなど、耕作放棄地や販売の低下に歯止めがかかるよう対策を講じてまいります。

Q 採算性ばかり言うが、もう少し農家のことを考えながらやってほしい。

A 支所再編という大きな改革をやるとなれば組合員の方々にも痛みを伴います。農家とひびを交え会話しながら、踏み込んだ営農指導ができる農協職員でなければいけないと思います。厳しいご意見をいただいておりますので、謙虚に耳を傾け原点に戻り、訪問活動・職員教育を徹底してまいります。

Q 国の締め付けで農協つぶしが行われている。農協を必要とする農家は多く、そういう人を捨てていくことになる。農協がなくなる危険性があるので、締め付けだけでなく、農家を支える気持ちを持ってほしい。

A 農協の規制改革など、国の厳しい攻勢がかかってきます。報道で言われるように金融と共済、経済を分離しようとしています。この

ような中、経営の刷新・合理化を図りながら、総合農協が事業のメリットを生かせるよう努力してまいります。

Q 今後、支所再編計画はあるのか。

A 今回の再編後、さつま地区については、当分支所再編はないと思います。県下平均の1店舗あたり60億円の貯金量基準に照らせば、伊佐・川内は次の再編も視野に入ると思われます。

Q 今年は1戸当たり5000円の増資を計画してある。支所がなくならぬと組合員離れ等により出資金が減少していくのではないか。

A 昨年の出資配当が2%、今年は1%でした。出資をしていただければそれに伴う出資配当を受けることとなります。毎年5000名の組合員脱退で1億1000万円の出資金が減少していきます。国際基準に基づき、自己資本比率を上げていかなければなりませんので、増資をお願いしています。

Q 再編後の事業利益は確保されるのか。

A 収益性は向上します。

Q 永野・中津川・求名地区の集約支所についてはどう考えているのか。

A 地理的に中心に位置する旧薩摩町庁舎に事務所を移転する計画で

す。既にさつま町より内諾を得ています。

Q 農家が望む渉外担当者は、業務に関する知識が豊富で懇切丁寧に対応し、フットワークの軽い職員であってほしい。

A 人選は経験や知識、意欲等を考慮します。また、職務に取り組む姿勢や人間性も考慮したいと考えます。

Q 総合渉外担当者の業務内容や要員体制を教えてください。

A 基本的に支所が廃止された地区に1名常時配置し、組合員・利用者宅を巡回し、要望をお聞きします。また、高齢者や車の運転ができない方から連絡を受けて、貯金の受入払出、年金支給月に年金受給者にお金を届けます。また、他の業務の相談にも応じてまいります。総合渉外担当者は、支所がなくなつた場合に生じるさまざまな不便を解消するために配置します。

Q 移動購買店舗車の導入はどのよう計画しているのか。

A Aコープと協議し、当面は1台の導入を予定しています。取り扱う商品は生鮮食料品、日用品等になります。1t車に200種類ほど積み込み、さつま・伊佐地区を巡回します。また、運行状況を確認しながら増台を検討します。

Q 移動購買店舗車を巡回させて採算が合うのか。

A 赤字での運行は想定していません。しかし、支所廃止地区に対するサービスのひとつとして運行します。今後は車の運転ができなくなり、買い物に行けなくなる人が多くなり、利用者が増えてくると想定しています。皆様の要望を取り入れながら、運行計画を周知の上実施してまいります。

Q 貯金の入出金はどの支所を利用していいのか。

A 普通貯金の入出金はどの支所でもできます。

Q 総合渉外担当者の時間外の対応はどうなるのか。

A 現金を取り扱う場合は、基本的に時間内で処理させていただきます。時間外の対応については柔軟に対応します。

Q 営農相談機能の充実を図っていただきたい。

A 経済担当職員に一般的な営農指導の教育を行い、窓口による営農相談体制を整えてまいります。また、専門的営農指導員の要員を確保し、資質向上と巡回体制を強化します。

JAグループは自らの手で改革を断行します！

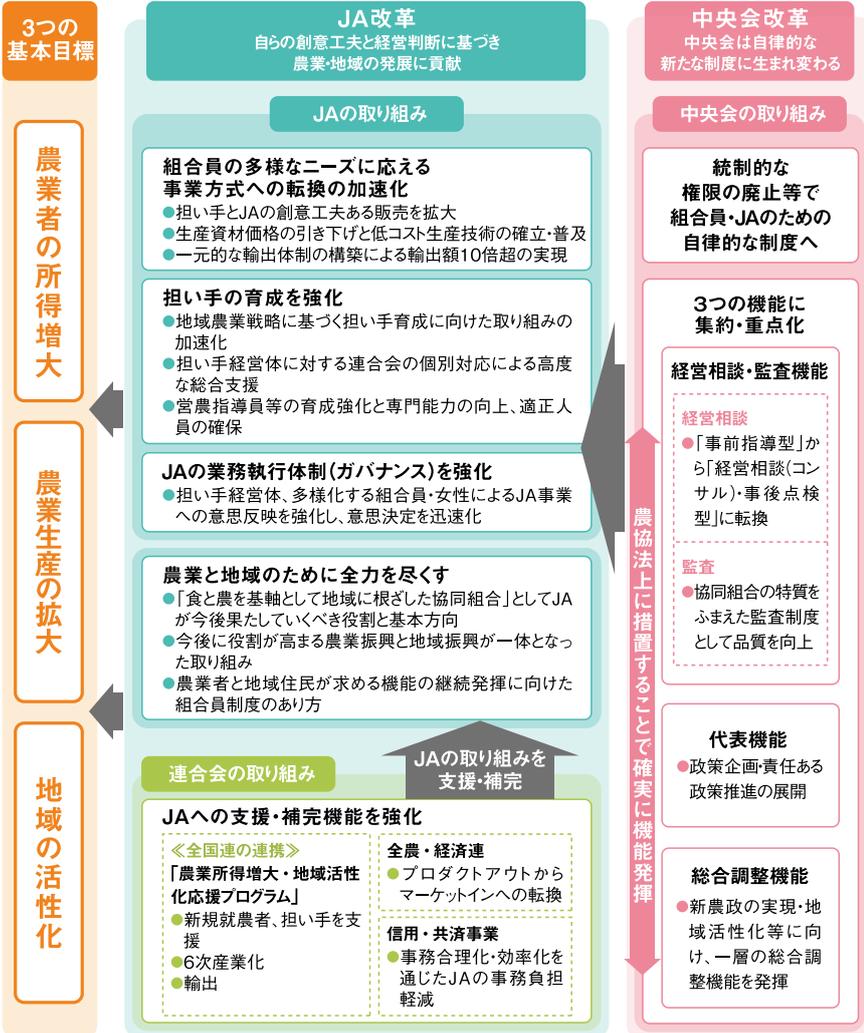
JA全中会長の諮問機関である総合審議会は、政府が6月に決めた「農林水産業地域の活力創造プラン」を受けて、JA自己改革案について検討し、11月上旬に中間とりまとめ

を行いました。JAグループはこの中間とりまとめを踏まえ、自己改革の内容を決定しました。自己改革は、「食と農を基軸として地域に根ざした協同

組合」として、農業者や地域住民と一体となつて持続可能な農業と、豊かで暮らしやすい地域社会を実現するために「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、総合事業の展開により、この目標の実現に向けて取り組みます。

JA改革については、組合員

自己改革 (JA改革、中央会改革) の全体イメージ



デイサービスセンターに併設した歯科診療所(福岡県のJAにじ)

総合事業で「農業」と「地域」振興を

JAは、農業振興はもちろんのこと、地域振興でも重要な役割を果たしています。農業者の職能組合と地域組合の性格を併せ持つ「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、総合事業の展開に

に選ばれるJAとなるために、今までの創意工夫と経営判断に基づき、積極的な事業展開を進めます。

具体的には、組合員のニーズに応じた事業方式への転換の加速化、担い手育成強化、JAの業務執行体制(ガバナンス)強化に取り組みます。

また連合会は、JAの取り組みを支援補完する機能を強化します。

中央会改革については、国から与えられた統制的な権限などは廃止し、JAの経営課題の解決や積極的な事業展開の支援を目的とする自律的な制度として、新たな中央会に生まれ変わります。

より、地域活性化に取り組んでいくことが必要です。

JAグループは総合事業により、一つの拠点で複数の事業が利用できるワンストップサービスを組合員や地域住民に提供しています。

地方によっては、銀行機能や購買店舗がJAにしかないという地域もあり、JAの総合事業は地域社会の暮らしを支え、地域インフラの一翼を担っています。また、農業農村が食料の安定供給や多面的機能を維持していくためには、農業者と地域住民が一体となった協同活動が不可欠であり、JAの役割発揮がこれまでに以上に強く求められています。

「新たな中央会」に生まれ変わります！

農協法上の中央会は、新農政の実現や「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けたJAの自主的な取り組みを支援することを目的とする自律的な組織に転換します。組合員およびJAから求められる機能を発揮できる、「新たな中央会」に生まれ変わります。

ポイントは2つ。1つは、JAの定款等を一律的に規制する模範定款例や、JA指導を拘束する統一的な基本方針といった、現行の統制的な権限を廃止し、JAの自主的な取り組みを支援する組織に転換します。

もう1つは中央会の機能を「代表」「総合調整」「経営相談・監査」の3つに集約・重点化します。

「経営相談機能」では、JAの創意工夫を後押し・下

支えるため、一律的な事前指導から個別相談と事後チェックに転換します。「監査機能」では、会計監査と業

務監査を一体的に実施する、JAの特質を踏まえた監査制度を農協法上に措置。その上で品質の向上を実現

します。「代表機能」では、組合員・国民に支持される農政推進を図るため、農政連と

役割分担し、中央会は政策企画・提案に特化します。「総合調整機能」については、JAの営農経済事業を強化する「担い手サポートセンター」の設置、一元的な輸出体制の構築など、JA、連合会の枠を超えた取り組みを行います。

中央会改革のポイント

現状

JAグループの総合指導機関として、国が統制的な権限を付与

- ▶ JAの模範定款例の策定
- ▶ JAの組織、事業、経営に関する基本方針の策定
- ▶ 中央会の指導に関する資料等の報告徴求権
- ▶ 中央会が行った指導の総会報告義務

改革

今後

統制的な権限の廃止

現状

一律の規定例等に基づく経営指導

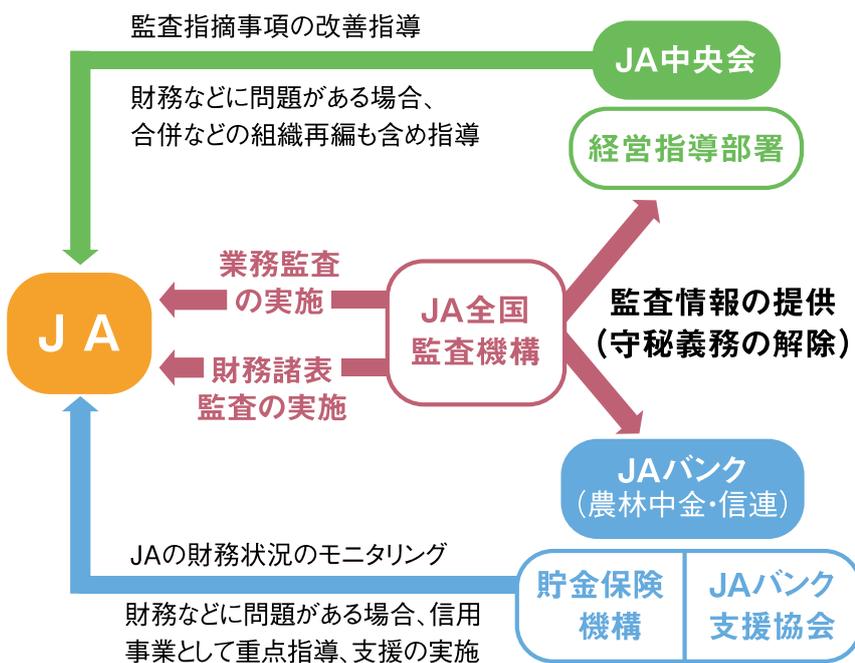
- ▶ 中央会が策定した模範定款例によるJAの定款指導

改革

今後

高度化するJAの経営課題の解決につながる経営相談（コンサル）の展開など、機能を重点化

現在の経営指導と監査、JAバンクとの連携による仕組み



「ハウスきんかん」はさみ入れ式 玉伸び、色づき良く最高の出来

かごしまブランド産地に指定されている薩摩川内市「ハウスきんかん」の出荷が始まりました。同市東郷町の小田原求さん（74）のハウスで11月21日、はさみ入れ式があり、生産者や関係者ら約80人が参加。黄色く色づいたキンカンにはさみを入れ、収穫を祝いました。

J A北さつま果樹部会川内きんかん専門部会は会員70人で、栽培面積12・

7畝。今年は天候に恵まれ生育も良好です。主に関東・関西方面に出荷しており、共販量235ト、販売額1億8800万円を見込んでいます。石野田浩部会長は「玉伸びが良く色つき具合も早い。近年にない最高の出来で、キロ当たり1000円以上を期待したい。生産者も年内出荷を目指して頑張つてほしい」とあいさつしました。



黄色く色づいたキンカンを丁寧に収穫する生産者



消費者に好評だったジャガイモの詰め放題

よかもん収穫祭2014 若手生産者が 農産物をPR

かごしまよかもん収穫祭2014（協同組合まつり&若手生産者からの玉手箱）が11月16日、鹿児島市のドルフィンポート前広場でありました。

J A北さつまからもさつま、伊佐地区両青壮年部が参加。自分たちが作ったトマトやネギ、新米などを販売し、消費者に食の安心・安全や協同組合活動をアピールしました。

特に好評だったのが、さつま地区青壮年部が行った軽トラ市でのジャガイモ詰め放題。掘りたての新鮮さが、消費者に受けていました。

また、J A女性部の親子ピザ作りや酪農青年部の乳搾り体験などもあり、人気を集めていました。

産業祭&JAフェスタ

イベント多彩 来場客も満喫

第10回薩摩川内市産業祭&JAフェスタが11月16日、同市総合運動公園多目的広場でありました。市制施行10周年記念とあつて、多くの来場客でにぎわいました。

ステージイベントでは、川内北中学校吹奏楽部がオープニングを飾り、郷土芸能や歌謡ショーの他、ちびっ子に人気の薩摩剣士隼人ショーなどが繰り広げられました。また永年、農林水産業や商工業に貢献された優秀産産家表彰も行われました。

会場内では、特産品販売や餅つき、魚のつかみ取り、丸太切りなどもあり、来場客は思い思いに楽しんでいました。



ステージショーも盛り上がりしました

J A 共済交通安全キャラバン 歌って踊って 交通ルール学ぼう

子どもたちに交通安全の大切さを訴える「J A 共済アンパンマン交通安全キャラバン」が11月23日、J A 北さつま本所でありました。

午前・午後の2回ステージに約800人の親子を招待しました。アンパンマンたちと一緒に歌って踊り、楽しく交通ルールやマナーを学びました。

J A では、平成23年に子育て支援サービスとして「アンパンマンこどもくらぶ」を発足しました。さつま、川内、伊佐の3地区で、ベビーマッサージや写真撮影などの体験教室を開催しており、多くの親子が参加しています。



アンパンマンたちが交通安全の大切さを訴えました



感謝の手紙を読む園児

働く人々に ありがとう

さつま町の宮之城聖母幼稚園の年長児10人が11月21日、J A 北さつま本所を訪れ、「勤労感謝の日」の手紙と手作りのリースを贈りました。

園児たちは「農協の皆さん、いつも安心・安全な食べ物を作ってくれてありがとう。これからもみんなにおいてい物を届けてください」と、元気な声で手紙を読み、J A 職員に手渡ししました。

同園では、働く人々へ感謝しようと毎年行っており、今年もJ A など5事業所を訪ねました。かわいい園児の心遣いに、応じたJ A 職員もにっこりと笑顔を見せていました。

さつまファームレディ倶楽部 保育園で茶育 寸劇も披露

川薩地域の女性農業経営士で作るさつまファームレディ倶楽部は12月2日、さつま町の保育園クオラキッズで「茶育」を行いました。

寸劇ではカテキンマンが登場し、悪さをする風邪菌を退治すると、園児も大喜び。「お茶にはビタミンCが豊富で、飲むと虫菌になりにくく、風邪やインフルエンザの予防にもなるよ」と、お茶の働きを分かりやすく説明しました。

また、お茶の作り方や入れ方も紹介。茶育メンバのチーフ、窪田はるさんは「小さいときからお茶に親しみ、家庭で飲む機会が増えることを期待したい」と話していました。



茶育に取り組むさつまファームレディ倶楽部



鈴の音を響かせながら勇壮な舞を披露しました

下手水天祭 県指定文化財の 錫杖踊り奉納

伊佐市菱刈の下手水天神社で11月28日、水天祭があり、県無形民俗文化財に指定されている「下手錫杖踊」が奉納されました。

五穀豊穡と家内、牛馬安全を祈願する伝統行事。神事後、8人の踊り手が鈴の音を響かせながら勇壮な舞を披露し、見物客を楽しませました。

踊りに参加したJ A 北さつま職員の廣橋誠さんは「できる限り続けて、地元で伝わる郷土芸能を大切に守ってきたい」と話していました。

祭りの夜、地区内の家庭では訪問客に手打ちそばを振る舞うのが風習で、別名「そば祭り」と呼ばれます。

日本一おいしい米 コンテスト in 庄内町



「日本一おいしい米」コンテストで優良金賞を受賞した鍛冶屋さん

鍛冶屋さんが優良金賞

「あきほなみ」高評価

さつま町船木の鍛冶屋公貴さん（42）が作った米「あきほなみ」が、山形県庄内町で開かれた「第8回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」決勝大会で、九州から唯一、総合部門優良金賞に選ばれました。鍛冶屋さんは12月9日にJA北さつま本所を訪れ、永福喜作組合長に受賞報告をしました。

コンテストには全国から409点が出品されました。消費者が食べ比べて審査を行い、最優秀金賞1点、優秀金賞5点、優良金賞6点、金賞18点を決めました。

鍛冶屋さんは9鈴で、「あきほなみ」や「ヒノヒカリ」など多品種の水稲栽培に取り組んでいます。今回初めての出品で決勝大会に進出し、全国の米どころを抑えて入賞を果たしました。

鍛冶屋さんは「鹿児島の米がおいしいと評価されてうれしい。今までの努力と気苦労が報われた。夢のようだ」と喜びを語りました。永福組合長は快拳をたたえ「今回の経験を生かして、さらにおいしい米作りに励んでもらいたい」とねぎらいました。

水稲種もみ検査開始



JA北さつま中津川低温農業倉庫で、水稲種もみの検査が始まりました。2月まで行われ、合格した種もみは3月以降、県内各地に届けられます。

さつま町中津川地区は、県内唯一の普通期米の種もみ産地。35人が73鈴で「ヒノヒカリ」や「あきほなみ」など7品種を生産しています。

形質、水分、色など厳しい検査が行われ、発芽率90%以上、整粒90%以上で合格となります。今年は品質も上々で、出荷量は昨年並みの370トを見込んでいます。

中津川採種生産組合の塩森高世組合長（66）は「異品種が混入しないよう、1人1品種限定で生産に取り組んだ他、病害虫が発生しないよう管理に最善を尽くした」と話していました。

子牛せり市成績表(税込み)

薩摩中央家畜市場 平成26年12月8日～9日

入場頭数	580頭							
売却頭数	570頭							
入場	売却	最高値	最低値	平均値	平均体重	kg単価	前回比	
雌	245	235	1,097,280	351,000	641,621	270	2,373	36,610
雄								
去	335	335	940,680	241,920	637,293	290	2,201	▲23,775
総平均値	639,078円							
前回比	3,046円 高値							
総売上高	364,274,280円							

◆優良牛産地目指す 第3回さつま町和牛振興大会が11月29日、宮之城文化センターでありました。4年に1回の開催で、町内の和牛農家約300人が参加し、講演や表彰が行われました。また、子牛出荷3000頭の維持と優良牛の産地「さつま」の確立を図ろうーなど、4項目の大会スローガンも採択されました。北薩家畜保健衛生所の牧内浩幸さんが口蹄疫防疫対策について講演し、飼養衛生管理基準の順守を呼び掛け、消毒薬の作り方と使い方を指導しました。また、鹿児島県経済連の料木元一さんが、飼料情勢や子牛・母牛の飼養管理について説明しました。

● 干し柿を南三陸町へ ●

東日本大震災で被災した宮城県南三陸町に贈る干し柿作りが、伊佐市立羽月西小学校で行われました。JA女性部伊佐支部も作業に参加し、寒風に揺れる「柿のカーテン」に復興の願いを込めました。

同校では、心に残る贈り物で被災地の高齢者を励まそうと、3年前から干し柿作りに取り組んでいます。今回はJA女性部に協力要請があり、22人が快く引き受けました。

校区内の住民らから約1500個の渋柿が提供されました。女性部員は全校児童15人と協力して皮をむき、ひもを通して熱湯にくぐらせ、渡り廊下につるしました。

帖佐敦子支部長は「児童がたくさん干し柿を作り、作業が大変だと聞いていた。少しでもお手伝いできればと思っていたので、今回協力できてよかった」と話していました。

出来上がった干し柿は、児童からのメッセージカードを添えて南三陸町社会福祉協議会に届けられ、主に仮設住宅に住む一人暮らしの高齢者に贈られました。



児童と一緒に干し柿を作りました

● 農作業もおしゃれに ●

JA農機大展示会が11月13～15日の3日間、鹿児島市でありました。JA女性部と青年部による「おしゃれファーマーズコレクション」も開催され、安全に配慮し、機能性とおしゃれ感を両立した農作業ファッションが提案されました。

JA北さつまからは、さつま川内支部の女性部員4人がモデルとして参加。部員たちは共同購入のもんぺと長靴をさりげなくアピールし、審査員から「体に合った服で安全性が高い」と評価されました。

ステージ横では、おしゃれで安全な農作業着の展

示・販売もあり、「農ガール」たちの関心を集めていました。



● おせち料理に挑戦 ●

さつま支部は12月3日、JA本所で「食の伝承」料理教室を開きました。26人が参加し、家の光12月号を参考におせち料理に挑戦しました。メニューは大根のサーモン巻き、芋ようかん、ちらし寿司など7品。部員たちは4班に分かれて、手際良く作っていました。

料理が出来上がると全員で試食。「おいしい」と評判でした。



人間ドックのご案内

JA北さつま・JA厚生連では、総合的な健康診断として人間ドックを行っています。

ぜひ人間ドックを受けて健康づくりに役立ててください。申し込みと問い合わせは、JA本所福祉課(0996)53-1131、川内総務経済課(0996)27-0191、伊佐総務経済課(0995)24-2607へ。

受診日	支所名	コース	募集人員
1/8	さつま	一般	10人
1/8	こしき	一般	2人
1/13	川内	一般	5人
1/14	樋脇	女性	5人
1/15	入来	一般	5人
1/23	伊佐	一般	5人
1/23	伊佐	女性	10人
1/27	さつま	一般	10人
2/2	さつま	一般	10人
2/5	伊佐	一般	10人
2/9	さつま	一般	10人
2/20	さつま	一般	10人
2/27	さつま	一般	10人



キラリ農 輝く☆

だいごうじ ひろみ
大宮司 浩己さん
伊佐市大口青木

<経営品目>

☆水稲 3.2ha
☆水田ごぼう 1ha

対策講じ土の安定化目指す

「農業は自然相手に怖さもあるけど、自分が頑張った分だけ返ってくるのでやりがいがある。これからもおいしい水田ごぼうを作りたい」と目を輝かせていました。

「農業は自然相手に怖さもあるけど、自分が頑張った分だけ返ってくるのでやりがいがある。これからもおいしい水田ごぼうを作りたい」と目を輝かせていました。

伊佐地区で水田ごぼうの出荷が始まっています。同地区では水田の転作物として平成15年に導入されました。現在では生産者27人が7.6畝で栽培に取り組んでいます。

大宮司さんは20年間、会社勤めをしていましたが、母親が病に倒れたのを機に帰郷。農業機械が揃うなど条件が整っていたことから就農しました。3年間は父・時夫さんに付いて学んだのですが「ほとんど教えてもらっていない。見て覚えるといった感じでしたね」と苦笑いを見せていました。

水田ごぼうの栽培を始めて5年目。30アだった面積は1畝まで拡大しました。「今年は天候不順の影響で少しやせていますが品質は上々。気を付けているのが土づくりで、毎年環境の変化に対応できず苦慮しています。土の分析を行い、もみ殻くん炭をまくなど対策を講じています。連作障害をなくして土の安定化を図り、生産量アップに努めたいと思います」。

■生産量アップに努力

新鮮食材で 楽しくクッキング



干し柿の優しい甘さにユズの爽やかな香りをプラス。ビタミンCが豊富ですので、お正月以外にもサラダ感覚でたっぷりお召上がりください。甘味は体に優しい蜂蜜・メープルシロップ・アガベシロップなどがおすすめです。

干し柿入り紅白なます

■材料 (2人分)

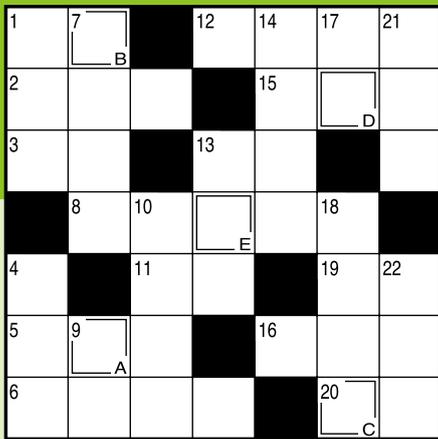
ダイコン……………200g
ニンジン……………30g
干し柿……………1～2個
ユズ……………1個
昆布……………1cm

1食当たり 約108kcal

赤唐辛子……………1本
塩……………適量
酢……………大さじ2～3
蜂蜜など……………大さじ1

■作り方

- (1) ダイコンとニンジンは皮をむき、短冊切りにする(ニンジンはダイコンより薄めに切る)。
- (2) 3%の塩水を作り(500mlの水なら塩大さじ1程度)、(1)を10分程度漬ける。しんなりしたら、よく水気を絞る。
- (3) ユズの皮1/2個分は千切りにし、果汁は搾る。昆布は千切り、赤唐辛子は種を除き細い輪切り、干し柿は太千切りにする。
- (4) 酢、蜂蜜、ユズの果汁、昆布、赤唐辛子を混ぜた中に、よく水気を切ったダイコンとニンジンを加え、優しく混ぜ合わせる。
- (5) 30分以上なじませてから、器に盛りユズの皮を添える。



パズル？

頭の体操

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

■タテのカギ

- 1 七福神の一人 タイを抱えています
- 4 117に電話すると分かります
- 7 スライスして焼いた食パン
- 9 笑い話の最後に付けるもの
- 10 階段の途中の広がっている所
- 13 たばこの一種 紙巻きより大きい物が多い
- 14 ロシアの首都
- 17 漢字では羊の歯と書く植物
- 18 海や川で魚介を捕るのが仕事
- 21 肉や乳などを利用するために飼育します
- 22 寝室から聞こえる「グォー、グォー」

■ヨコのカギ

- 1 平成27年は乙未(きのとひつじ)
- 2 鶏肉はチキン、牛肉は――
- 3 煙突の中にとまります
- 5 湖に張ったらスケートができるかも
- 6 ツルの物は長くワシは鉤(かぎ)形
- 8 最短距離の道は通らずに……
- 11 縄文時代の物には縄で付けた模様があります
- 12 すらりと伸びた――のような脚
- 13 金属をたたいて薄く延ばした物
- 15 徳島県名産のかんきつ類
- 16 1週間に7種類あります
- 19 夕空に輝く――の明星
- 20 晴れ着で成人――に出席する若者

応募方法

895-1811 JA北さつま経営企画室 「クロスワード」係	藤摩郡さつま町虎居745
--------------------------------------	--------------

- ①答え
- ②郵便番号
- ③住所
- ④氏名
- ⑤年齢
- ⑥意見・感想

郵便はがきに①答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥意見・感想などを書いて、左記の宛先まで送ってください。正解者の中から抽選で10名の方に粗品をプレゼントします。締切は1月25日。(クイズの応募で取得した個人情報については、これ以外には使用いたしません)

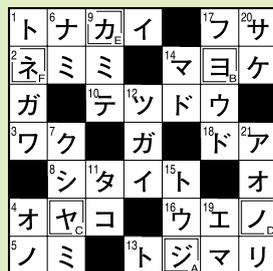
11月号当選者発表

11月号「パズル？ 頭の体操」当選者は次の方々に決まりました。おめでとうございます。

- ▷田中悠斗さん▷今川由加利さん
- ▷角井敬子さん▷現王園洋子さん
- ▷児島初子さん▷橋之口優子さん
- ▷栗山節子さん▷諏訪いつ子さん
- ▷橋口由美子さん
- ▷瀬戸東由美子さん

12月号の解答

ジヨヤノカネ



当選者は2月号で発表します。

理事会だより

第9回理事会を11月27日に開き、次の事項について協議しました。

【議案】

- ①平成26年度県常例検査回答について
- ②組合員に対する貸付について

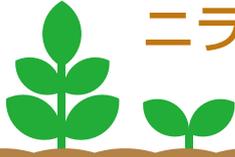
【報告】

- ①平成26年度下期定期積金、手形貸付金、割賦未収金の外部確認監査実施について
- ②平成26年度全国監査機構期中I回答について
- ③年末・年始の業務について
- ④農林年金特例業務負担金の長期前納について
- ⑤平成27年新春自動車・農機具合同展示会開催要領について
- ⑥伊佐資材配送センター建設計画再見直しについて
- ⑦平成26年度産米、米集荷・検査状況報告について
- ⑧平成26年度産米の不作・米価下落等にかかる対応について
- ⑨平成26年度県下統一「JAバンクウィンターキャンペーン」進捗状況について
- ⑩平成26年10月末店舗別貯金・貸出金残高実績について
- ⑪平成26年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- ⑫共済速報について
- ⑬子牛・成牛せり市実績について
- ⑭県肉用牛枝肉共進会成績について

野菜ナンデモ珍百景



■宮之城ちくりん館発 さつま町虎居の甫立紀明さん(74)が、双子の白菜を収穫しました。甫立さんは「初めてでびっくりした」と話していました。



ニラは春先の株分け更新が大切

板木技術士事務所 ● 板木利隆



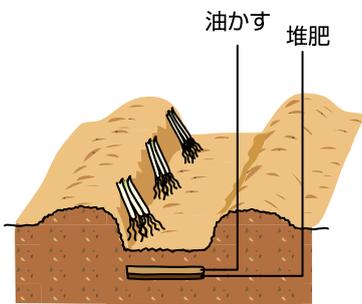
刈り取る
大きくくわを打ち込んで
掘り上げる



根株を割る



1株ずつ分ける



新しい畑に2~3株ずつ並べて
まとめて植え付ける

肉との相性が良い、スタミナを養うニラは、カロテン・ビタミンB2・カルシウム・カリウムなどが豊富で栄養価は抜群、体を温める温性野菜で、血流を良くして胃腸の働きを整える効果もあります。強健な野菜で、一度植えておけば毎年、年に数回刈り取りできるので、狭い家庭菜園にもうってつけです。

しかしいくら強いといっても、2~3年取り続けると幅広で厚みのある良い葉が収穫できなくなってしまう。そうなる前に早めに株分けし、更新するのが上手な育て方です。

株を分けるのに一番良い時期は、2月下旬~3月上旬ごろです。ニラは冬に入ると葉が枯れて根株が休眠状態に入りますが、これから覚め、小さな新芽が動き始めた状態を見計らって作業します。この

ころは根株に栄養が十分に蓄えられていて、断根や分割という荒療治をしても傷みが少なく、作業もしやすいからです。

株分けは、まず地上に残っている枯れ葉を、5cmぐらいの高さに、きれいに刈り取ります。そして株の周りに、くわかシヤベルを大きく打ち込んで根株を掘り起こします。

根株は強大で、細根が密に張っているのので、全てを掘り取ることはできませんが、中ほどで切断するようになっても構いません。

掘り上げた根株は、土を落とし、指先に力を入れて大きく割り、さらに小割りして図のように1株ずつに仕分けします。

新しい畑への植え付けは、条間80cm、深さ10cmほどの植え溝を作り、分けた株を2~3株まとめて20~25cmの株間に植え付け

ます。元肥には堆肥や油かす、緩効性の化成肥料を十分に施しておきます。植えるときには、根株を束状にまとめないで、平置きにしましょう。覆土は株の上部がやや出るぐらいにとどめ、やがて新葉が伸びだしてきたら葉先を埋めないうように注意して2回ほど覆土し、溝が全部埋まるようにしてください。こうすれば晩春には見違えるほど勢いの良い、良質のニラを収穫することができます。

収穫は25cmほどに伸びたとき、地上5~6cmのところから刈り取ります。その後少量の追肥をし、伸びたら再び収穫します。

8月に入るととう立ちし、やがて開花してくるので、一斉に全部刈り取りし、追肥して秋の収穫に備えましょう。

8月に入るととう立ちし、やがて開花してくるので、一斉に全部刈り取りし、追肥して秋の収穫に備えましょう。

こんにちはAコープです!

今年もAコープは、組合員の皆様に喜んでいただけるように「安心・安全」「地産地消」にこだわった商品を取り揃え、ご来店を心よりお待ちしております。

今年もAコープをよろしく願いたします。

東郷店 石川店長
川内店 新徳店長
市比野店 手打店長
こしき店 新納店長
入来店 田上店長
大村店 石原店長
ひしかり店 児玉店長

今年も従業員一丸となって頑張ります!

営業時間のご案内

店舗名	営業時間	電話番号
Aコープさつま店	朝9:30~夜21:00	0996-52-1081
Aコープ山崎店	朝9:00~夜18:00	0996-56-8312
Aコープ大村店	朝9:30~夜19:00	0996-55-1153
Aコープ川内店	朝9:30~夜21:00	0996-27-1122
Aコープ東郷店	朝9:00~夜20:00	0996-21-6555
Aコープ市比野店	朝9:00~夜21:00	0996-38-1089
Aコープ入来店	朝9:30~夜20:00	0996-44-3855
Aコープこしき店	朝9:00~夜19:00	09969-2-1539
Aコープひしかり店	朝9:30~夜20:00	0995-24-1220

育てよう明日を

通信

このコーナーは、JA県中央会・各連合会の情報をお伝えするコーナーです。

JA中央会



©よい食

「ごはん・お米とわたし」

図画コンクール 入賞作品発表！

JA中央会は、10月に「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、「ごはん・お米とわたし図画コンクール」を実施しました。応募総数は186点。たくさんの小学生が一生懸命描いてくれました！来年も県内全小学校に通知しますので（募集期間は8～9月）、応募してくださいね。入賞作品のうち上位2点を紹介します。



◆鹿児島県知事賞「がんばるぞ 田うえ」



おかもら ほのか
鹿児島市立吉野小学校3年 岡村 帆夏さん

◆鹿児島県教育委員会賞「いっしょにおにぎりつくろう」



ふじさき ことこ
始良市立建昌小学校5年 藤崎 琴子さん

JAバンク

テレビCMで
話題の
謎のリス!?

ちょリスを みなさんはもうご存じ?



「このリス、どこかで見たことあるなあ」とお思いの方も多いのでは？

JAバンクの
新しいキャラクター
『ちょリス』です!

ちなみにこのちょリスは、鹿児島島の形をイメージしてポーズをとっているんですよ。ぜひ、名前を覚えてくださいね♪

JA厚生連
健康管理
センター

日本人女性の
12人に1人が
乳がんになっ
ています。



JA女性部ピンクリボン検診のご案内

JA厚生連では、JA女性部と連携し、女性特有の疾病予防を目的として「JA女性部ピンクリボン検診」を実施しています。

【検診内容】

- マンモグラフィー
- 乳腺エコー
- 骨粗しょう症
- 健康教室

【対象者】JA女性部の方々

お問い合わせ

(乳がんセルフチェック方法などの講習)



詳細は最寄りのJAまでお問い合わせください。

JAグループ鹿児島

四葉のクローバーは幸福のシンボルです。4枚の葉は、さつま川内・さつま・伊佐と組合員の絆をイメージ。JAとのつながりで多くの方々幸せになってほしいとの願いを込めています。

編集・発行／北さつま農業協同組合・経営企画室
鹿児島県薩摩郡さつま町鹿居745番地
電話 0996 (53) 1121 (代)
ホームページ <http://www.ja-kitasatsuma.or.jp/>

第33回

自動車大展示会

県内最大級
700台
展示!!

2015年2/6(金)7(土)8(日)

営農用トラック 多数展示
安全運転診断 シミュレーター体験
新型エコカー 多数展示

会場 JR鹿児島駅横特設会場 (桜島フェリーターミナル近く)
主催 JA・JA鹿児島県経済連 協賛 JA鹿児島県中央会・JA鹿児島県信連・JA鹿児島県厚生連・JA共済連鹿児島県本部

JA北さつま 農機具・自動車

合同 展示会

ダイナミックセール

このチャンスに お気に入りの 農機・車をぜひ! 揃えます!! 若者向け車も

平成27年 1月17日・18日
土曜日：午前9時～午後4時
日曜日：午前9時～午後3時

JA北さつま本所構内

各メーカーの新車・中古車を 望々展示 主催 JA北さつま・経済連

JAマイカーローン キャンペーン

年1.4%

2.8%

2015年1月5日～5月29日

詳しくはJAの窓口までお問い合わせください。

JAグループ鹿児島 総合ポイントカード

JADDO

じゃつど!

JAの組合員に なっているけれど、 JADDOカードにおいて どんなメリットがあるの?

A 組合員会員のメリットは、①利用会員(組合員会員でない会員)の方より多くポイントが付くこと、②組合員特典として Aコープ・おいどん市場でのお買い物1,000円(税抜)につき1ポイントが上乘せて付くことです。加算ポイント数については、ご利用いただいているJAの加算基準表をご参照ください。

また、JA組合員の方でも、JADDOカードに組合員名寄せ登録(カードに会員様がJA組合員であるという情報を登録する手続き)をしていないと組合員会員にはなりません。組合員の名寄せ登録がお済みでない方は、組合員になっているJAの窓口において『JADDOカード事業名寄せ登録申込書』によるお手続きをお願いいたします。

貯まったポイントは 会員専用webサイトで ご確認できます。

会員専用webサイトは下記URLから <http://www.jaddo.jp>

※現時点ではパソコン・スマートフォンからのみアクセスができます。

JADDOカードについては ☎ 0120-250-380
Aコープについては ☎ 0120-011-884

育てよう明日を
JAグループ鹿児島